

クラブチームに登録する高校生/高専生等の安全に関するガイドライン

2024年4月から施行される登録規程変更に伴い、クラブチームに高校生/高専生等の15歳以上の選手が登録できるようになります。それに伴い、練習において、15歳以上18歳未満の選手が18歳以上の成人選手とコンタクトすることが増えることになり、これまで以上に安全面の配慮が必須となります。(公財)日本ラグビーフットボール協会(以下「JRFU」)では、これまで年齢区分をベースにして、競技の公平性や安全性の確保に取り組んで参りました。今回の登録規程変更で、今後はより多面的な評価の元に、競技のコンタクトレベルと参加メンバーの適正化を考えていく必要があります。(カテゴリー内での選手の多様化や競技力格差拡大が顕在化しており、年齢/年代への配慮だけではなく、適切なメンバーでかつ適切なコンタクトレベルの試合・練習を実施することが、多様性のあるチームを安全に指導するために必要とされます。)

各クラブチームで高校生を受け入れることにつき、安全面の配慮は必須であり、クラブのチーム管理者、有資格指導者、セーフティアシスタントの皆様には適切な管理体制の構築へのご協力をお願いします。

1. 本ガイドラインの対象

本ガイドラインは高校生及び高専生、および、中学校を卒業した19歳未満の男子・女子を受け入れるクラブチームを対象としています。

2. 安全のための注意点

JRFUでは、安全なラグビーの実現のためにこれまでの安全対策の施策を継続していきませんが、各チームの指導者・管理者の方々に、以下の2点への配慮をお願いいたします。

① 練習・試合における注意点

- ・日々の練習・試合においては、選手の年齢、性別、体力、競技能力、体調等に十分に配慮し、選手の安全確保に努めること。
- ・年齢カテゴリーの異なる選手同士が練習を行う際は、必ず指導者が監視すること
- ・怪我やコンディションについては、オーバーワークや怪我の悪化などの可能性があるため、十分に考慮し、関係者間で情報共有を行うこと。(複数登録の場合は、別に登録されているチームへの共有)

② 大会参加に伴う注意点

- ・大会に参加する際には、大会の参加条件に必ず従うこと。18歳以上の選手が参加するクラブチームの大会、ラグビースクール(ジュニア、ミニ)の大会に、高校生・高専生等を出場させられません。(出場できる大会においても、安全管理を最優先させ、選手の年齢、性別、体力、競技能力などに著しい格差が存在する大会への出場は慎重に検討すること。)

3. 本件に関するお問い合わせ先
(公財)日本ラグビーフットボール協会 安全対策委員会
anzen taisaku@rugby-japan.or.jp

以上

2024年3月21日 制定
2024年4月1日 施行